

みんなちがってみんないい

今年度の終わりが見えてきました。生徒たちが取り組んできたものも形となって表れてきました。その最たるものが美術の作品です。現在、二年生が制作した防火ポスターが、廊下の掲示板に整然と貼られています。

私には絵心がありませんので、デザイン、構図、色彩などを専門的に評価することはできません。しかし、私は生徒たちの作品を鑑賞するのが大好きです。一つとして同じものがないという点が魅力です。日常の中で、そろえたり統一したりするところが多い中で、一人一人が出ていると感じられます。授業巡視の締めくくりとして、廊下の掲示板に並んだ作品を見てみると、思わず歩くのがゆっくりになります。今日は二年生の防火ポスター作品の中から二つを紹介します。

一つは火の点いたタバコを描いたものです。私は、中心にあるタバコにひきつけられました。遠近法でフィルムターの部分が大きく重そうに描かれています。その分、やがてタバコが灰皿から転げ落ちることが確信できます。おまけに、灰皿の下は新聞紙ですからね。火は描かれていませんが、容易に火を連想することができます分、私はドキッとしました。

「タバコの火を消そう」というメッセージが、色の関係でやや読みづらいという課題はありますが、絵から防火意識を大いに刺激されました。



じました。

また、写真からはわからないのですが、渦巻く全体のバックには細かな模様が無数に描かれています。思わず、目を近づけて見入ってしまいました。緻密な作業が連想できます。

生徒一人一人の顔が違うように、描く絵も当然違います。「みんなちがって、みんないい」という金子みすゞの言葉通りですね。

(二月七日 記)